

今季初の4連勝で1つでも上へ!



©AC KUMAMOTO

前節の結果 第35節 ○3-1 vs 長崎

cover column

さまざまな形から奪った3得点は、今後の攻撃の可能性も感じさせた

5年ぶりとなった長崎との九州ダービーに臨んだ前節。エースの高橋利樹を欠く布陣ながら、通常よりも1列前でのスタートとなった竹本雄飛が先制点を奪って優位な展開に持ち込む。前半のうちにカウンターから失点し同点とされたが、迎えた後半、コーナーキックからの跳ね返りを平川怜が美しいボレーを突き刺して勝ち越すと、さらに坂本巨基と平川のコンビネーションから3点目。第28節の金沢戦以来、7試合ぶりとなる3ゴールで快勝した。

第33節の東京V戦、続く第34節大宮戦では、数多くのチャンスを迎えながら1得点にとどまり、2点目、3点目と追加点を奪うことがテーマとなっていた。そうした

中、高橋不在の状況にあっても、サイドからのクロス、コーナーのこぼれ、そしてコンビネーションでの崩しと、いろいろな形から複数得点を奪えたこと、そして一度は追いつかれながらも勝ち切ったことは、間違いなく自信になる。「毎試合、ゼロで抑えられるとは限らないし、1失点しても攻撃陣が複数得点取れるのは強いチームとしての条件だと思うので、これからも継続できれば」。坂本がそう話すように、プレーオフに進出して勝ち抜くには、残り7試合でできるだけ多く勝点を積み上げなくてはならず、そのためには失点しないこと以上に点を奪うことも重要。ゴールに向かう姿勢を、表現し続けなくてはならない。

9.14 (水)
@えがお健康スタジアム
19:00 K.O.

第36節 FC町田ゼルビア 戦



VS



ロアッソ熊本公式サイトでは、クラブ概要、チーム紹介、試合日程および結果など公式的な情報を配信。

<https://roasso-k.com> @roassoofficial @roassokumamoto roassokumamoto_official roasso kumamoto

発行：(株)アスリートクラブ熊本 〒862-0954 熊本市中央区神水2丁目10-10 TEL.096-283-1200

制作協力：Photographer／都竹容子 Writer／井芹真志 Design／オレンヂデザイン



ロアッソ熊本 LINE
公式アカウント開設





©J.LEAGUE

勝点差8と開きはあるが前期は引き分け。 チームとしての成長を示し、勝点3を。

前節の良い部分を継続したい

中3日でホームに迎えるのは、勝点差8の9位・町田。相手は3連敗中とチーム状況は対照的に映るが、長崎同様に個々の力は高く、90分を通した集中が不可欠。3位・岡山との差を縮めつつ、仙台、大分との勝点差をわずかでも広げるためにも、初の4連勝をつかみたい。

前期の対戦はちょうど、リーグ戦の折り返しとなる第21節。土信田悠生のプロ初ゴールで追いつき引き分けたが、ゴール前でのコンビネーションから先制を許しての追う展開となった。

このゲームでは立ち上がりから自分達の流れに持ち込めず、失点場面では相手のパスワークのテンポもあって「人にいけなかった」と河原創は振り返っている。しかしリーグ戦後半に入って失点が減っていることが示しているように、最終ラインを押し上げ、前からのプレッシングを徹底することで、相手にペースを握られる時間帯を耐え切れるようになっているのも確か。カウンターから同点とされた前節の失点を踏まえ、攻撃時のリスク管理を改めて徹底し、無失点に抑えられるかがポイントだ。ホーム5連勝で、初の勝点60に到達できるか。

今節の予想スタメン



対戦データ

FC町田ゼルビア

監督 ランコ ボボヴィッチ

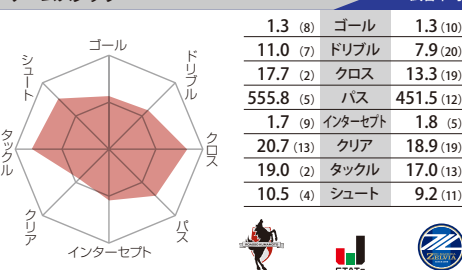
GK	23	ボーヴォリアム
GK	42	福井 光輝
GK	45	佐々木 想太郎
GK	50	バーンズ アントン
DF	2	奥山 政幸
DF	3	二鬼 海
DF	4	太田 宏介
DF	5	深津 康太
DF	13	菅沼 駿哉
DF	17	高橋 裕平
DF	24	岡野 海
DF	26	奈良坂 巧
DF	32	深津 壮一郎
DF	44	安達 一貴
MF	6	佐野 海舟
MF	8	高江 龍央
MF	10	平戸 太貴
MF	16	宇野 裕斗
MF	18	長谷川 アーリアジャスール
MF	19	山口 一貴
MF	22	翁長 聖
MF	41	安井 拓也
MF	46	樋口 堅
FW	7	ドウトツ
FW	9	鄭 大世
FW	20	佐藤 大樹
FW	27	晴山 岬
FW	28	太田 修介
FW	30	中島 裕希
FW	37	平戸 悠
FW	40	ウィニウス アラウージョ



直近4試合の戦績

△ 1	2022/06/12 Gスタ	1 △
● 2	2018/07/16 えがお	3 ○
△ 2	2018/04/08 町田	2 △
● 0	2017/09/02 えがお	1 ○

チームスタッツ



過去の戦績は1勝2分6敗と大きく負け越している相手で、勝ったのは初めて同じステージになった2012年後期の1度のみ。ホームで10年ぶり2度目の勝利を掴みたい。

2022シーズンJ2成績

※9月10日時点

順位	チーム名	勝	分	負	得失差
↑ 1	アルビレックス新潟	68	20	8	7 31
↓ 2	横浜FC	68	19	11	5 16
- 3	ファジアーノ岡山	63	17	12	6 18
↑ 4	ロアッソ熊本	57	15	12	8 7
↓ 5	ベガルタ仙台	55	16	7	12 14
- 6	大分トリニータ	55	14	13	8 10
- 7	V・ファーレン長崎	51	14	9	11 4
- 8	モンテディオ山形	49	13	10	11 13
- 9	FC町田ゼルビア	49	14	7	14 6
↑ 10	ジェフユナイテッド千葉	49	13	10	12 3
↓ 11	徳島ヴォルティス	48	9	21	5 11
↓ 12	水戸ホーリーホック	46	12	10	12 4
↑ 13	東京ヴェルディ	42	10	12	12 0
↓ 14	ヴァンフォーレ甲府	42	9	15	11 -5
↑ 15	栃木SC	40	9	13	12 -6
↑ 16	ブラウブリッツ秋田	40	10	10	15 -14
↓ 17	ツエーゲン金沢	40	10	10	15 -17
- 18	レノファ山口FC	39	10	9	16 -7
↑ 19	大宮アルディージャ	34	8	10	16 -15
↑ 20	いわてグルージャ盛岡	33	9	6	20 -33
↓ 21	ザスパクサツ群馬	32	8	8	19 -17
- 22	FC琉球	29	6	11	18 -23

----- J1自動昇格圏内 ----- J1参入プレーオフ出場圏内

